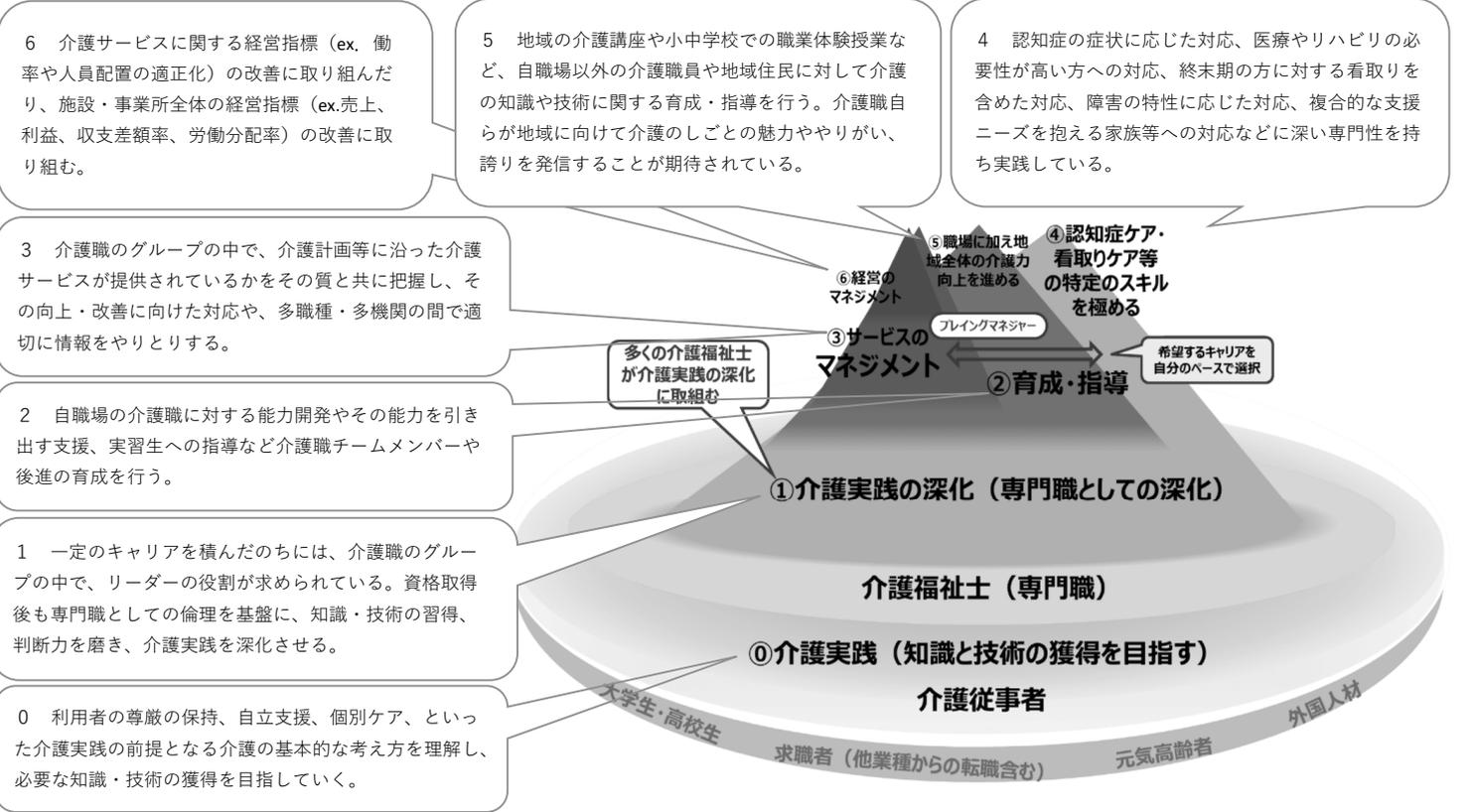


三訂介護職員初任者研修テキスト（令和6年7月発行初版）

正誤・新旧対照表

巻	頁	行数・図表番号等	誤・旧	正・新
1	18	表1_地域支援事業	介護予防・生活支援サービス事業	サービス・活動事業
	19	表1_総合事業		
	202	表2_地域支援事業		
	223	図8		
	223	下から5行目		
	224	図9		
	224	下から7行目		
1	115	上から4行目	看護師・ <u>准</u> 看護師	看護師・ <u>准</u> 看護師
1	193	上から18行目	定期巡回・随時対応サービス	定期巡回・随時対応 <u>型</u> サービス
1	196	下から4行目	介護サービスの加入者	介護保険制度の加入者
1	215	上から3行目	<u>認定審査会</u>	<u>介護認定審査会</u>
1	241	下から3行目	<u>入所必要定員数</u> などの	<u>必要入所定員総数</u> などの
1	251	図15_ケアマネジメントと介護過程_介護サービスの種類_下から4行目	小規模 <u>多機能</u> 居宅介護	小規模 <u>多機能型</u> 居宅介護
2	303	上から11行目	<u>認知</u> を	<u>認知症</u> を
2	337	下から8行目	外耳、 <u>内耳</u> などの伝音系	外耳、 <u>中耳</u> などの伝音系
3	150	上から6行目	日常生活 <u>基本</u> 動作（ADL）	日常生活動作（ADL）

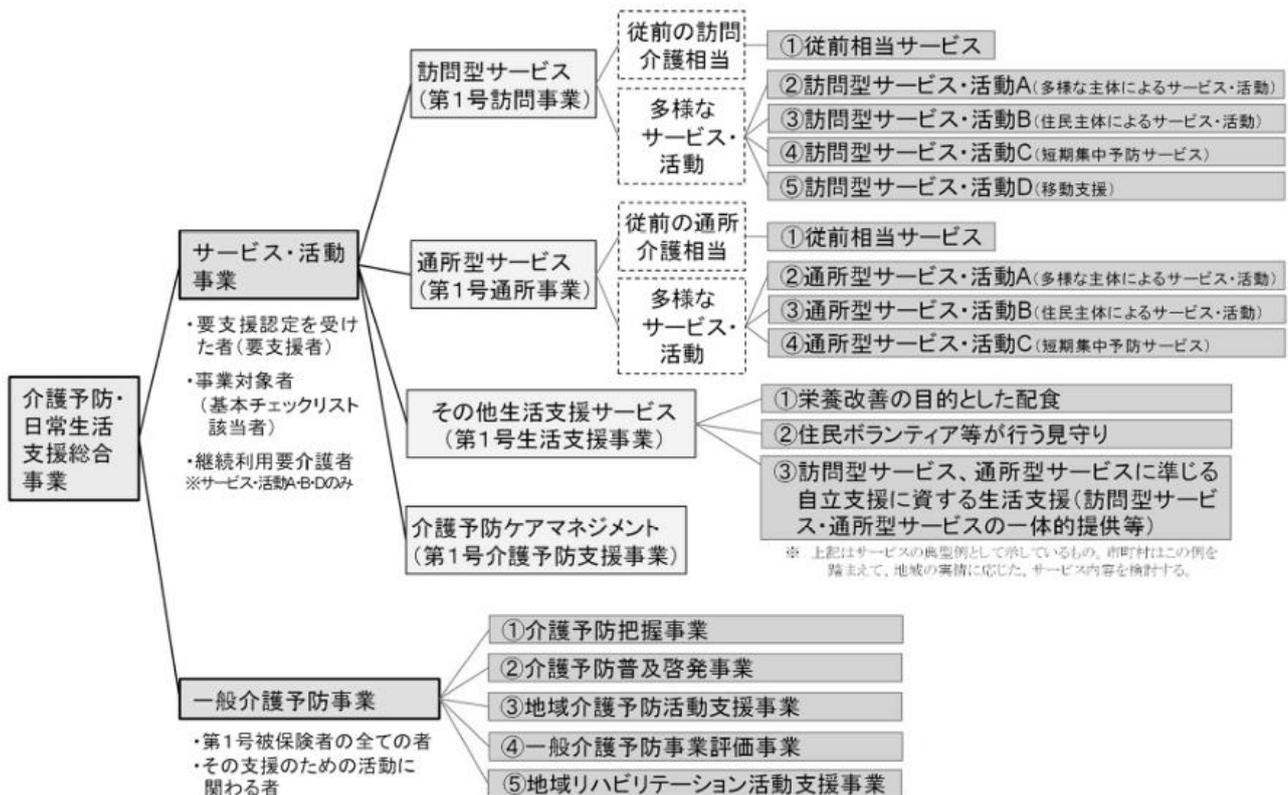
介護人材確保の目指す姿は、「まんじゅう型」から「富士山型」へと転換されましたが、さらに「富士山型」から「山脈型」へと、厚生労働省は介護職のキャリアパスの在り方のモデルチェンジを図ります。  
従来の富士山型では、介護職への多様な人材の参画を促すため、裾野を広げるとともに山頂に向かいより専門性の高い人材の育成を目指していましたが、さらに「山脈型」とすることにより、キャリアパスの目指す方向性をライフステージに応じ「育成・指導」や「サービスのマネジメント」の能力を備えた上で、「認知症ケア・看取りケア等の特定のスキルを極める」「現場に加え地域全体の介護力向上を進める」「経営のマネジメント」など、職員の意向や職場のビジョン等を踏まえた複数の到達点を持つキャリアパスモデルとし、人材の離職防止や定着促進を図ることとしています。



1巻P32 追加参考資料

出典：令和5年度老人保健健康増進等事業「介護福祉士のキャリアアップにおける職場環境等の影響に関する調査研究事業」報告書(令和6年3月：株式会社日本能力協会)より引用・一部編集

## 介護予防・日常生活支援総合事業の構成



1巻P224 図9「介護予防・日常生活支援事業の構成例」追加資料

資料出所：介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインについて(令和6年8月5日)